

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

<派遣留学（中期・長期）> 4 名

オーストラリア サザンクロス大学 2 名

カナダ ジョージアン大学 2 名

<短期研修>

・海外セミナーⅠ 11 名

フィリピン セブグローバルゼーション 夏季 7 名 春季 4 名 計 11 名

・海外セミナーⅡ 21 名

オーストラリア インパクトカレッジ 夏季 1 名

台湾 東呉大学語学センター 夏季 3 名 春季 2 名 計 5 名

韓国 聖公会大学 夏季 5 名

韓国 建国大学 夏季 7 名

※詳細 別添参照

以 上

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

派遣留学（5 ヶ月間／9 ヶ月間）

派遣先：オーストラリア（ゴールドコースト） サザンクロス大学

期 間 (A) 2024 年 4 月 5 日 ～ 2025 年 2 月 18 日

(B) 2024 年 6 月 11 日 ～ 2025 年 2 月 18 日

参加者：合計 2 名（3 年次 1 名、4 年次 1 名）

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商	1 名 (A)	福祉文化（健康スポーツ）	
国際コミュニケーション	1 名 (B)	こども文化	
福祉文化（社会福祉）		管理栄養	

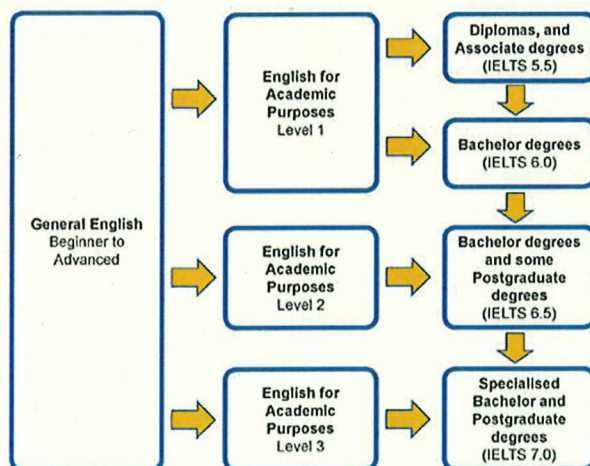
総授業時間数：(A) 語学 約 300 時間および科目等履修 2 科目

(B) 語学 約 340 時間および科目等履修 3 科目

語学時間割

時間帯	内容
8：30-13：15	General English, English for Purpose
13：15-14：15	自習

履修科目名：The interconnected world, A culture of dialogue, Starting a business
Tourist behavior and interactions



学生 A (派遣中のレポート抜粋)

・オーストラリアに来て 85 日

【授業の様子】

今月初期～から、EAP コースへ切り替わり課題や今までの授業内容とは全く別物で、難しくなりました。このコースは毎週 1 つ大きい課題があり、その課題は英文の論文をいくつも読まなければならないという課題です。そこに書かれている単語は今まで触れたことのない単語がたくさんあり、読解するのがとても厳しいですが友達と協力しあいながら取り組んでいます。論文を読んでいくうちにアカデミックの単語も少しずつ知ることができ、内容を理解できるととても楽しいと感じれるようになりました。でも、私の英語のスキルはまだなので、これからもっと努力が必要だと思う毎日で、良い刺激を受けることが出来ています。9 月は EAP コースの中で一番大きいと言われている課題とファイナルテスト勉強があるので、成功できるように頑張ります。

【ホームステイ先について】

ホームステイ先は、変わらずとても良い方に恵まれていてとても素敵なステイ生活を過ごすことが出来ています。毎日の出来事をお互いに話したり、コミュニケーションをたくさんとることができています。今月は課題がたくさんあり、7 時まで学校にのこることが多かったのですが、マザーが体調のことを心配してくれたり、presentation 前は家で練習を見てくれたりサポートを沢山してくれました。テスト前や疲れている時には、優しい声をかけてくれる存在なので、頑張ることが出来ているのもマザーのおかげなので、とても感謝しています。

【心境について】

8 月は、大きい課題が一気に 3 つあったため、とても多忙な生活をしていました。課題をするうえで、いろいろと重なった部分もあり、初めてメンタルブレイクしてしまいました。一度焦ってしまうと、先生が説明してくれても焦りが増してしまいます。更に、英語が聞こえなくなり目の前の課題も重みに感じてしまった時期がありました。しかし、フィリピン人の友達が励ましてくれたのもあり、一日で立ち直ることが出来ました。また、周りの人も頑張っているのも知っているので、自分だけじゃないなと思うと、自分のペースで楽しみながら、焦らずにやろうと気持ちを切り替えることができました。また、これを機に、目の前にある出来事に対して私は焦りやすいなと知ることが出来たので、これからは焦らず！！というのを忘れずに課題に励んで行きます。

【ホリデイについて】

8月の2週目に1週間のホリデイがあったんですが、その時に、一人でシドニーに遊びに行きました。ゴールドコーストとは全く違う雰囲気だったのでとっても楽しかったです。またマザーも以前シドニーに住んでいたというもあり、ホテルの予約やおすすめの場所をリストアップしてくれました。そのおかげで不安もなく楽しむことが出来ました。そのほかにもいろんな友達とも慣れてきたので、祭りなどのイベントにも参加することが出来、沢山休暇を楽しむことが出来ました。私の楽しい休暇の様子は写真に添付します。

【英語力について】

最近の前よりもコミュニケーションをとることが出来聞こえる英語も増えているのが実感できています。しかしリスニングの練習で行うTEDトークはとても難しく聞き取ることが出来ません。最近ではnote-takingに力を入れているので、成長を感じることが出来るまであきらめずに頑張ります。課題に追われてテスト勉強をする時間がないので9月は時間を作るように課題を早めに取り掛かり論文を早く読めるようにコツをつかめるように頑張ります。

学生 B（派遣中のレポート抜粋）

レポート 5 月（2 ヶ月目）

学修面

日々の授業に関して

授業内容は週ごとで異なり、一週間にいくつかのテーマに集中する。今週は a few/few/little/a little, too many/too much/enough について学んだ。

先生によって授業形式が異なり、スピーキングをメインとする先生もいれば、問題をたくさん解くことをメインとする先生もいる。

モジュール D（今月の学期）の担当先生は 2 人いて、月金に Michelle で火水木は Margie である。Michelle は問題を出したり、ゲームをしたりすることで多くの言葉を教えてくれる。Margie は本を読んでそれをお互いに伝え合わせたり、様々なテーマについて討論させたりすることでスピーキング力を鍛えさせてくれる。

毎週金曜日に一週間で学んだことのプログレステストがある。形式は週によって異なり、今週はリーディングテストだった。そこで一週間学んだことがどのくらい身に付いているかを知ることが出来る。

自習に関して

7 時に学校に着いて、授業が始まる 8:30 まで英語リスニング（アプリ）や BBC（Youtube）などで、リスニングの練習や単語を学んでいる。

5 週間ごとにグループでプレゼンテーションがあるため、最近は学校が終わった後にプレゼンテーションの準備をしている。

生活面

ホームステイ、ホストファミリーとの暮らし等について

以前はホームステイで、朝夜付き+家にある物を食べていいとのことではほとんど出費がなかった。しかしステイ先が変わり、全て自炊をしないといけなくなった。身の回りのことを全て自分でするので自立心が強くなった。

基本的にシェアハウスなのでそんなに深い話はしないが、質問をすれば丁寧に返してくれる。

この 1 か月での変化について（物理的なこと・身心、気持ちのことなど何でも）

・最近知ったことで、CoastRs メンバーになると年 \$ 1 でシリアルとティーとミルクと

サンドイッチが無料で食べられる。まだ詳しい事は分からなく、制限があるのか毎日補充されるのかは分からないが、入った方がお得。毎週水曜日は外でミニイベントがあり、メンバーだとドーナツやお菓子がもらえる。

・最近イタリア人の人と行動する事が増えた。その人はよく舌打ちをするし、イエスノーがとてもはっきりしていて、日本人とは正反対だと思う。最初は怖くて危ない人だと思っていたが、段々居心地が良くなってきた。○の付け方も全く違う異なり、イタリアでは間違っている問題に○をつけるらしい。私の採点はいつもイタリア人に任せていて、最初は混乱して意味が分からなかったが慣れた。

・バスが距離で金額が変わるのではなく、区間で変わることを知った。

バス遅延が多いという事は知っていたが、来ないことがあるという事は先週初めて知った。一時間以内に乗り換えをすれば運賃が一定区間タダ。

・今まで必要か心配になった物は買っていたけど、最近になり何が本当に必要で、何が不要なのかを判断できるようになった。

全般（1か月をとおして感じる事、考える事なんでも。自分の頑張ったこと、自分を褒めたいこと、もう少しチャレンジが必要なことなど。）

・今月誕生日の方が3人いて、先生がケーキを作ってきて他のクラスも含め皆で祝ったときに、先生との距離が近くて、日本では味わえない事だと思った。

・クラスの8、9割が日本人だから、このままだと英語で話す機会が少ないまま終わってしまうと思い、イタリア人にたくさん話しかけた。

発音が今までに聞いたことなく、最初は何を言っているのか全然分からなかったけど最近では理解できるようになった。

・自分で家を探して引っ越すことが出来た。しかしネット込みと書かれていたが、壊れているから自分のギガを使ってほしいと言われた。本来は値下げを要求すべきなのに私はそのままの値段で契約をしてしまった。

もっと落ち着いて物事を考える事、言いたいことをしっかり相手に伝えるようにする。

・SOP (Serving Our People) というお店があってそこで賞味期限の近い物や切れた物を人に提供しているお店がある。もらえる数は決まっているが、賞味期限を気にしない人はここである程度もらえるので節約になると思った。パンが3斤まで、一種類につき一つもらえて、パン・果物を除いて最大で7個までもらえる。果物は取り放題。

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

派遣留学（6 ヶ月）

派遣先：カナダ（バリー）ジョージアンカレッジ

期 間：2024 年 9 月 3 日 ～ 2025 年 2 月 21 日

参加者：合計 2 名（ 3 年次女子、2 年次男子）

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商		福祉文化 （健康スポーツ）	
国際コミュニケーション	1 名	こども文化	1 名
福祉文化（社会福祉）		管理栄養	

総授業時間数：(A) 約 420 時間 （B)380 時間

語学時間割（例）

時間帯	内容
月 10：00-11：50	Writing & Grammar
13：00-15：50	Canadian Culture
火 9：00-10：50	Speaking & Listening
12：00-13：50	Lab
水 10：00-11：50	Speaking & Listening
13：00-14：50	Reading & Vocaburary
木 9：00-11：50	Writing & Grammar
12：00-13：00	Conversation Club
13：00-14：50	Lab
金 9：00-10：50	Speaking & Listening
12：00-13：50	Reading & Vocabulary

学生 A（派遣中の毎月レポート抜粋）

11月に入ってから、かなり勉強に打ち込める期間があった。クラスもオンラインの生徒がほとんどだったが楽しく忙しく充実していた。だが、生活の何気ない瞬間に自分の未熟さや少しの怠けに自信をなくしてしまうこともあり、そのたびに悔しい思いをしていた。もともと、人の感情やちょっとした仕草に気付き傷つく傾向があり、体力を消耗しやすい私にとってしんどいこともあったが、ルームメイトや友人らと楽しく過ごしていた。だが、11月後半に入ってから、英語力吸収の波というものでしょうか、誰と話すにも頭が固くてリラックスして会話をできない状況に陥ってしまった。そのため、話す機会を見つけても黙っていたり、勇気を振り絞ることさえもない場面が多くなった。ホームシック、脱力、燃え尽き、諦め、期待、風邪、これらでなかなかアクティブ、そしてポジティブにいられなかった。それでもルームメイトや友人らとの限られた時間は素敵に過ごすことができたのでよかった。12月に入ってから、なんとなくずっと元気がなく寝ている時間が多かったが、11月からたまにオプションのクラスで会っていた中国人の友人と仲良くなれて、また新しい大切な人ができて少し前向きになれた。

今のところ、英語力は大きく伸びている、と感じているわけではないがカナダに来た意味は見出せた。それは「私がまだ若い」ということ。クラスや外で出会う英語学習者、移住者の中には子持ちや、すでに母国で大学を卒業した人、私の両親と同じ年代の人もある。そんな大人たちや少し年上の彼らを見ていると、私はまだまだ彼らより時間も自由もあるのに、と感じた。そして、「普通」やその環境に囚われない行動・決意、私もいつまでもこんな人でありたい、と思えた。「大人になっても挑戦する」、これがいかに難しいか、日本、そして沖縄にいとすごくわかる。私がここで出会った人たちのおかげで、私はこれから挑戦と自分自身の興味に従う大人、という新たな理想像を得ることができた。それだけでも、この留学の大きな土産と経験になったかなと思った。この考え方や価値観は、卒業後の進路決めに関わらず、私にずっと影響し続けるものだと思う。

そして、最後のセメスターが始まった今、また切り替えて、ハードルを高くせず、残りの短い日数でできることをして楽しめればよいなと思っている。

学生 B（派遣中の毎月レポート抜粋）

今回のカナダ、バリーの派遣留学を経て学んだことは2つあります。

一つ目は、言語です。今回の派遣留学の最大の目的は、英語を学ぶことだと思います。私は半年間語学学校に通い、英語の勉強に励んでできました、元々私の英語力はゼロではなかったのですが、ほぼ無いに等しかったので最初はとても苦労しました。私はレベル3から始まり、レベル5で終わりましたが、レベル3が始まった時私は最初余裕だと思っていましたが、そんなことはなくまず授業が全て英語なためそれを理解するのが大変で、次にその授業の中で単語や文法の勉強をしていくので、とても最初は苦労をしました。ですがそんな環境でやるからこそ、全てが英語の学習につながり、リスニング力や単語力がついてきました。またクラスメイトとも英語で会話をするため、スピーキング力も必然的についてきました。そしてレベル4になる時にはだいぶ慣れてきて、英語でも授業にも全く抵抗がなくなり、普通の授業な感じで受けれるようになってきました。そしてレベル5になり今度は授業のレベルが格段に上がり、授業に追い付けなかったり、課題に追われる日々が続きました。ですがそんな日々を頑張っていると、自分でも自分の英語力が伸びてくることにも気付きました。

二つ目は、文化も違いや価値観の違いです。私は語学学校に行っていたので、いろいろな国からたくさんの人が来たりするので、いろいろな国の人と関わる機会が多く、文化の違いや価値観の違いにぶち当たることもありました。例えば、カナダなどの欧米の国では、自分が間違ったりするのは当たり前、間違えないでどうやって学んでいくんだ精神でなんでも挑戦したりするため、みんな学ぶことへの意欲がとても強く、みんな発言などを日本人よりも全然していて、最初自分は間違えるのが恥ずかしくて怖かったので、発言の頻度は少なかったのですが、ある時友達が何をそんなに恐れているんだと背中を押してくれたため、私はそれを機会に発言の頻度が増えました。その他には、友達と話したりして思うことは、意見が違ったりした時に向こうは自分の意見は自分の意見としてちゃんと言うところです。日本では意見が違ったりしたら、争いを恐れてどちらかが譲ったり、お互い譲ったりすることが多いですが、向こうはそんなことがなく意見が違って言い合ったりするのは当たり前でした。私はこれにとっても衝撃すぎてなんか友達が言い合ったりしているのを聞くと、自分はおさらず自分の意見を言えなくなっていました。正直これにはなかなか慣れることはできなく、留学の終盤までできずにいました。ですがある時自分でも望んでない時に友達と意見が違うことがあり、少し言い合うことがあったのですが、それを機会に恐れなくなりました。

最後に今回の留学ではたくさんの思い出や、たくさんのことを学びました。向こうでは

基本一人で何かあっても解決しないといけないし、親などの助けがないためある意味は自分の成長にも繋がりました。そして新しい地に行き、自分でも知らない自分を知れたりたりいろんな人と出会ったりしました。この出会いは無駄にはせずこれからも向こうの友達やお世話になったホームステイ先の人とは連絡を取り続けたいと思います。そして今回の留学でたくさんお世話になった沖縄大学の先生方や、ジョージアン大学での日本人スタッフの人、そしてお金やいろいろな面でサポートしてくれた親には本当に感謝しても仕切れないです。この思いを忘れず、今回の留学が無駄にならないように、これからの学業にも精進していきたいと思います。

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナー I

プログラム内容：語学研修（4 週間特訓）

派遣先：フィリピン セブグローバルゼーション

期 間：（夏季）2024 年 8 月 24 日 ～ 9 月 21 日

（春季）2025 年 2 月 15 日 ～ 3 月 15 日

概算費用： 約 46 万円

参加者：合計 11 名

学科（コース）別	人数（夏）	人数（春）
経法商	4	
国際コミュニケーション	3	2
福祉文化（社会福祉）		1
福祉文化（健康スポーツ）		1
こども文化		
管理栄養		

総授業時間数：約 320 時間

時間割：

時間帯	内容
8 時 ～ 12 時	個人授業（1 対 1）
13 時 ～ 17 時	グループ授業（1 対 2 ～ 4）
18 時 ～ 20 時	目的別クラス授業（検定試験等向け、ビジネス向け等）
20 時 ～ 22 時	自習（宿題、復習、課題学習）

成果（報告書から抜粋）

- ・英語の重要性をひしひしと感じた。同じ時期に学びにきていた隣国である台湾、中国、韓国より明らかに自身を含めて日本人の英語力の低さを感じた。
- ・貧富の差を目のあたりにしていろいろ考えさせられた。また広い視野を持つことの大切さを感じた。
- ・社交性が増したと思う。友達を作らないと外に出られない環境だったことで、知らない人に声をかけるお願いするという経験は大きかった。今後生きやすくなると思う。

・こうあるべき、ということ自分の枠が少し外れた。自分の頑固さがこんなにいとも簡単にくずれ、絶対変わらないと思っていた自分の考え方が変わっていくことに感動をおぼえている。

・日本では目にすることのない場所に足を運び、自分の環境がいかにめぐまれているかを実感し、貧困などの社会問題について考えるきっかけになった。

・語学をメインに学びに行ったけど、そこでしか経験できない出来事をいくつも体験でき、県外や海外の人との交流もとても楽しかった。もっと英語を話せるようになりたい。

・大学の間にセブに行けたことが本当に良かったと感じている。これを経験したことで更に自分のやりたいことが見つかったし、英語をもっと勉強しようと思えた。

・今回経験した英語学習を日々継続していかなければならないと感じた、話したくても語彙を知らないために伝えたいことが伝えられない、悔しい思いが何度もあった。CGに来たことで自分の実力を再認識することができ、このまま勉強を後回しにしておくことへの危機感を感じた。自身の問題だけでなく社会の問題にも目を向けてどう生きていくかを考えるきっかけとなった。

・自分の意見を書いたり話したり、英語でアウトプットするという日本ではあまりしてこなかったことを一か月続けるだけで想像した以上の聞く力やIELTSのスコアも上がった。また、いかに日本が豊かで私達が恵まれているかを実感した。

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナーⅡ

プログラム内容：語学研修（4 週間）

派遣先：オーストラリア インパクトイングリッシュカレッジ（ブリスベン）

期 間：（夏季）2024 年 8 月 23 日 ～ 9 月 22 日

概算費用：約 65 万円

参加者：合計 1 名

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商		福祉文化（健康スポーツ）	1 名
国際コミュニケーション		こども文化	
福祉文化（社会福祉）		管理栄養	

総授業時間数：約 80 時間

時間割：

時間帯	内容
9 時 ～ 13 時	レベル別による 4 技能別・総合学習
オプション	リスニング特化、ビジネス、IELTS コース等

成果（報告書から抜粋）：

- ・最初は不安がとても大きかったが、ブリスベンについてオリエンテーションを受け、ホストマザーの家に着いたら昼食を作ってくれて親身に対応してくれて、不安が希望に変わったこと、ルームメイトも良くしてくれて少しずつ自分が変化していったことを今でも思い出す。
- ・インパクトの授業は人と話すことをとても重視していて、またとてもきつかったのは絶対に日本語を使ってはいけないことでしたが、皆とても親切で新しくクラスに入っても優しく迎え入れてくれたことはとても嬉しかった。
- ・一番苦労した点では英語以外に白米の文化が無いことだったり、水不足の国ならではのお風呂が 5 分以内というルールだったが、日本が恵まれていることや自分の行動をもう少し早くできるように改善したいと思った。
- ・留学をサポートしてくれた皆さんに本当に感謝して、今後の生活に生かしていけるよう頑張りたいと思っている。

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナーⅡ

プログラム内容：語学研修＋異文化体験（3 週間）

派遣先：台湾 東呉大学語学センター（台北）

期 間：（夏季）2024 年 8 月 4 日 ～ 8 月 24 日

（春季）2025 年 3 月 2 日 ～ 3 月 15 日

概算費用：約 30 万円

参加者：合計 5 名

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商		福祉文化（健康スポーツ）	
国際コミュニケーション	5 名	こども文化	
福祉文化（社会福祉）		管理栄養	

総授業時間数：夏季 約 72 時間 春季 約 45 時間

時間割：

時間帯	内容
9 時 ～ 13 時	レベル別による総合学習
数回	文化体験（料理実習、書道、遠足等）

成果（報告書から抜粋）：

・授業は会話中心で進められ、学生たちは日々の出来事や体験を題材に、身近な話題について活発に話し合っていた。授業で使用する単語やフレーズは実生活に直結し、現地の文化や風習についても自然と理解を深めることができた。また、ボードゲームをしたり、台湾のケーキや果物を食べたり、中国語吹き替えのアニメを視聴するなど、和やかな雰囲気での学習が進められた。このような環境は、適度な緊張感とリラックスを兼ね備えた貴重な学びの場であった。しかし毎週のように発表があり、その準備は大変だった。

・文化的な面でも多くの発見があった。台湾と沖縄の文化には多くの共通点があることに気づいた。例えば、どちらの地域でも伝統行事やお祭りで先祖を大切にする風習が根強く残っており、中元節の儀式や祭りが沖縄で見たものと似

ている点が多く、大変興味深かった。また、マンゴーやドラゴンフルーツ、パパイヤ、パイナップルなどの共通の果物や、料理の類似点などに触れることで、台湾文化への理解が深まり、沖縄文化を新たな視点から見直すことができた。

今回の留学は語学力向上の面では短期間ゆえに限られた成果にとどまったかもしれない。しかし、それ以上に異文化理解や自己成長の面で非常に有意義な経験となった。特に、中国語でのコミュニケーションの難しさを痛感し、語学学習の重要性を改めて認識することができた。また、台湾と沖縄の文化的共通点を見つけることで、自分の関心に対する新たな発見があった。

・一日六時間中国語を学ぶので集中して学ぶことが出来ます。また必ず宿題が出るので復習もできとてもよかったと思います。特によかったと思える点は、一番初めの宿題で街に出てミルクティーなどの飲み物を買って注文している様子を動画にとり提出するという宿題がやってよかったと思いました。最初は注文するとき通じなくて注文できなかったらどうしようとか、動画を撮るのは恥ずかしいなとか、やりたくないって感情がありました。でも、実際挑戦してみたら注文ができ、恥ずかしく感じたのも一瞬でした。この宿題をはじめにやったことで、できない中国語を今後話すことに恥ずかしさを感じなかったです。最初にこの宿題をし、中国語を自分から使えるようになったのはほんとによかったと思いました。また大学かられる時はバスに乗って出るので、最初の宿題から外に出ないといけない課題を出してくれたのも良かったです。

・先生方もとても親切で、私たちのレベルに合わせて、生徒皆が授業に参加できる場を作っておりとても良い環境と先生方でした。また、同年代の子達と協力して生活するのは、自分自身の成長にも繋がったと思います。お試しで留学を考えている方はぜひ行ってほしいと思いました。

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナーⅡ

プログラム内容：語学研修＋異文化体験（10 日間）

派遣先：韓国 聖公会大学（ソウル郊外）

期 間：（夏季）2024 年 8 月 3 日 ～ 8 月 18 日

概算費用：約 20 万円

参加者：合計 7 名

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商	2 名	福祉文化（健康スポーツ）	
国際コミュニケーション	3 名	こども文化	
福祉文化（社会福祉）		管理栄養	

総授業時間数：約 50 時間

時間割：

時間帯	内容
9 時 ～ 13 時	レベル別による総合学習
期間中 2 回	文化体験（韓国料理、K-pop ダンス、サムルノリ体験等）

成果（報告書から抜粋）：

・自分の学びたかった韓国語をしっかりと韓国で、しかも韓国の先生から学ぶことができてよかったと感じています。今まで参考書で学ぶのではなく、自分の好きな韓国ドラマを見たり、k-pop を聴くことで単語を知ったり、セリフ・歌詞を覚えたりしていたので、ちゃんとした授業を受けることができて、とてもいい経験をしたなと思いました。自分のレベルに合った授業だったので、簡単でもなく、とても難しい訳でもなかったので、少しずつ自分の実力が向上しているのを実感することができました。

・韓国学生に質問したり、ゲームをして仲を深めたりしました。韓国ドラマで有名な「イカゲーム」の中で出てくる型抜きゲームをして、画面の中で見たものを実際にできたので自分が同じことをしていることに不思議な気持ちになったし、韓国独自のゲームをしたこと

で韓国人学生たちだけでなく、同じクラスの研修生とも中を深めることができました。

・海外に出る経験は、何度も行けるわけではなく、就職したらますます行ける時間が無くなってしまう。そのため、本命の英語圏への留学を大学生でいる内に必ず目指すので、そのための準備を韓国留学での反省を生かして取り組んでいきたいと考えています。

・授業中はクラスメイトと韓国語だけで意見交換をしたり、ルームメイトとも遊ぶときに韓国語で会話をしたり、韓国の食品を調理してみたり、日常的に韓国語を使いながら、話す力や聞く力、読む力を以前より伸ばすことができました。

私は今までK-POPや韓国ドラマなどで韓国語を習ってきたので、本格的に文法や活用や語彙を習ったことがほとんどありませんでした。しかし、今回の短期研修を通じて新しい表現方法と語彙を学びとても有意義な時間となりました。また、クラスメイトの発言や発表がとても上手で私も更に一生懸命勉強しなければならないと良い刺激を受けました。

・韓国の街を歩いていて感じたことがあります。それは韓国のデザイン性が優れているということです。建物の独創的なデザインや、デザートやキャラクターのかわいいデザイン、そして配色、トイレまでもきれいなデザインで作られているところも多かったです。私はデザインやマーケティングにも興味があるので、その点で多くの参考になりました。道を歩いていると簡単には言葉で表現できませんが、日本とはまた違う韓国の感性があり、さらにそれが季節ごとに違うかと思うと、私は韓国にはまだ夏にしか来たことがないので、次は春や秋や冬にもぜひ来たいと思いました。

・今回の留学での経験を経て考えられたことはやはり語学力の重要性です。韓国語をもう少し話せる、会話ができるレベルに至っていれば、友人も多く作ることができ、飲食店や観光地巡りにも優位に立ててさらに良い経験を積むことができた可能性があります。そのためには、現地人と会話するための語学力が必須で、あまりにも自分が準備不足であったと痛感するものとなった。その影響か、語学力を上げるための勉強に対して、以前に比べたらモチベーションは良い方向に向いていて、自分的にはかなり成長できた気がしている。

2025 年 7 月

2024（令和 6）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナーⅡ

プログラム内容：語学研修＋異文化体験（3 週間）

派遣先：韓国 建国大学（ソウル）

期 間：（夏季）2024 年 8 月 7 日 ～ 8 月 21 日

概算費用：約 22 万円

参加者：合計 7 名

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商	1 名	福祉文化（健康スポーツ）	
国際コミュニケーション	5 名	こども文化	
福祉文化（社会福祉）	1 名	管理栄養	

総授業時間数：約 60 時間

時間割：

時間帯	内容
9 時 ～ 12 時	レベル別による総合学習
週 2 回	異文化体験（料理実習、書道等）

成果（報告書から抜粋）：

・教えてくれる先生が韓国語のみで全て通していくので語学力が付きやすい環境で授業を受けることができ、私にとってはとてもやり甲斐を感じることができてよかった。また、先生との会話の中で韓国語を間違えて発言してしまっても修正してくれて言葉を返してくれたりなど授業以外でも言語を学んでいる気がして最初の頃よりも語学力とコミュニケーション力も成長できたように感じ、とても嬉しかった。

・約 2 週間でしたがとても濃く、素敵な思い出を作ることが出来ました。初めての韓国で期待と不安でいっぱいでしたが、一緒に行った沖縄大学のメンバーと建国大学のサポーター学生のおかげで毎日がとても楽しく過ごすことが出来たと思います。

・建国大学のサポーター学生の方がとてもよくしてくださってお勧めのご飯屋さんやスポットに連れて行ってくれたり、たくさん助けてくれたおかげでより韓国を楽しむことが出来たと思います。私も、海外から来てくれた人々に同じようにサポートできる人になりたい

と強く思いました。

・本格的に韓国語を学んでみようという大きなきっかけが今回の海外セミナーで見つけることができて今回のプログラムに参加してとても良かったと心の底から思いました。

・はじめは不安でいっぱいでもかなり後悔しないかなという気持ちが大きかったけれど、今回勇気を出してみて良かったと思いました。今後も自分のやりたいことには後悔しないように積極的に行動しようと思います。

・沖縄に帰り、今こうしてレポートにまとめていく中で、心からこの語学留学に参加して良かったと感じました。二週間だけでしたが韓国の文化に触れ、語学を学び、色んな人と交流して得られたものは大きかったと感じています。これから語学留学に行ってみたいと考えている沖大の後輩たちが居たら、留学を強くおすすめしたいです。

・韓国での海外セミナーに参加したことで、日本にいるときには知りえない、実際に行って感じる事が出来る体験をすることが出来ました。

・注文するときや質問するときにはできるだけ日本語に甘えず、韓国語を使ってみようと思っていました。韓国語で注文した時、相手にちゃんと伝わって、自分が今まで勉強してきた韓国語に自信が付きました。また、韓国で生活しながら韓国人が話す本物の発音を目の前で知ることが出来たので、自分がこれから修正しようと思った発音もあったし、勉強していて何回も練習しているけど難しくて悩んでいた発音についても教えてもらえたので、やはり韓国に行ったら良かったなと思いました。

・韓国語に関して、自分がこれまで勉強してきた事が無駄ではなかったことの証明と自信に繋がりました。また、韓国に行つて気づいた自分の出来ていなかった点を見つけることが出来て良かったです。これから韓国語を勉強するときに、どこをどうやって勉強したら良いのか分かりました。

・今回の海外セミナーに参加すると決める前まで、韓国に留学することについてまだ悩んでいたのですが、帰ってきてからやはり韓国に留学に行きたいという気持ちが強くなりました。だから、これから TOPIK の勉強もこれまでよりももっと力を入れて頑張ろうと思いました。

・この海外セミナーを通して、韓国語はもちろん、韓国文化についても直接触れながら学ぶことが出来ました。三週間もない短い期間ですが、沢山の人たちに助けてもらいながら建国大学の教育院という非常に良い環境で学ぶことが出来て感謝しています。韓国語をもっと頑張つて勉強しようという意欲も湧いたし、文化についても勉強したいと思いました。